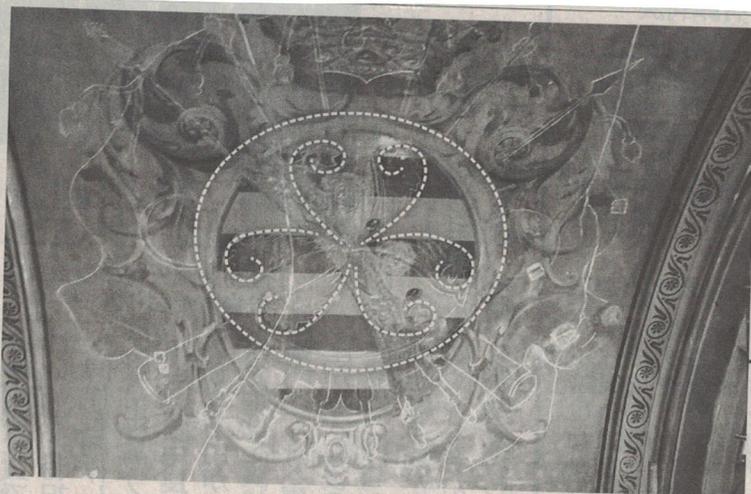


巨体のリストが提示された。関係者によると、この木材加工会社を含む五つの企業や団体の顧問を務めていた。このうち二つから報酬を受け取っていたが、13



「この紋所」ポルトガルに

ポルトガル北部ポルトに19世紀、商業組合本部として建設された「ボルサ宮」で壁画を修復中、絵の下に徳川家の家紋「葵紋」が描かれていたことがわかった。東京大学史料編纂所の岡美穂子助教(日欧交渉史)によると、幕末、海外で葵紋は王権の紋章と知られており、1865年に開かれたポルト国際博覧会に、外国奉行の贈り物を携えた代表が出席した記念と考えられる。

壁画下に葵紋 1865年の博覧会出席記念か

別の紋章が上に描かれた理由については、岡助教は67年に大政奉還で幕府が倒れたことを知り、途中で描くのをやめた可能性もある」と推測。ボルサ宮を管理するポルト商工会議所は「ポルトガルは1910年に王政から共和制に移り、ボルサ宮の壁画も王家の紋章から共和国の象徴に描き替えられた。その頃に葵紋も描き替えられたのでは」という見方だ。

同商工会議所は今後、葵紋の実物大のレプリカを作り、ボルサ宮内に展示することを計画している。

別の紋章の下から見つけた葵紋(ポルト商工会議所提供、点線は取材に基づき加筆)

損失

窓口を設置していないなどの違反が判明した企業に対し、6559件の是正指導